

女性活躍促進こそ成長戦略

豊橋技科大で 女子学生ら研究成果紹介も 講演会を開催

豊橋技術科学大学でこのほど、「成長戦略としての女性活躍の促進」の演題で講演会が開かれた。同日実施されたオープンキャンパスと同時開催。

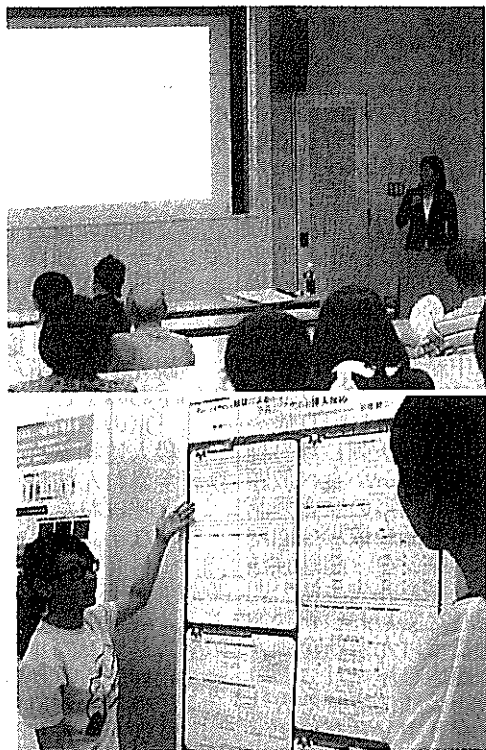
名古屋大学・名古屋女子大学と連携で 研究活動支援事業の一環

一環。経済産業省の関与。里係長は講演の中で、日本の働く女性の6割が第1子を出産後離職している現実や、仕事を辞めた場合の生涯所得に約

2億円の差が生じることなどを紹介。現在の経済状況で女性の力が必要な理由や先進国における管理職・役員女性の比率が最低水準であることなどをデータをもとに説明した。

児の息抜きをするパランスがとれはじめた。スーパーウーマンでなくとも、ワーキングママは務まる。自分らしさを知って賢い選択を」と締めくくった。

またこの日は、同大女子学生15人が研究成果をポスター展示。それぞれの研究について、訪れた地域の人や学生らにその内容を説明した。



約40人が参加した講演会の様子①と、研究内容を説明する女子学生

関さんは、企業の取り組みや個人の価値観の変化も過渡期である現在、「ダブルインカムwithキッズ」（共働きで子どもを育てる家庭）が日本の生き残る道」とし、自身のキャリア形成とライフステージを示しながら「育児で仕事の息抜きを、仕事で育

同大男女共同参画室長を務める中野裕美教授は「地域やオープンキャンパスに訪れた生徒らに、理系女子学生のロールモデルとしてアピールしたい。理系の女子学生がどのような研究をしているか、実際に見てもらった機会となった」と話した。

（戸崎史子）